



平成30年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす南谷山
鹿児島市小松原2丁目23番30号

電話 099-267-6611

FAX 099-267-7311

メールアドレス minamitaniyama@medicorp.co.jp

平成31年3月16日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（事—①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月 9日 (20:00~21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	4人	0人	15人

前回の改善計画

- ・業務分担について、新年度に向け再整理を行う。
- ・送迎や訪問サービスについて、ルートの見直しやスタッフの配置など工夫を行い、リーダーがきちんと管理できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・一日の流れについてリーダーが把握する事が出来ており、適宜スタッフ配置などの工夫をする事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	12	3	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	12	3	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	12	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	3	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新規受入時のアセスメントや情報共有については、ケアマネージャーを中心として実施しているカンファレンスやミーティングなどを通じて、おおむね共有することが出来ている。
- ・日常業務内では、リーダーが業務管理をする事が出来ており、随時必要な支援ができるようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・相談から受入までの時間がとれない緊急利用時に、共有される情報量に不足を感じる時があった。
- ・利用開始直後の利用者様に対しての声掛けや、関わり方、支援方法等で戸惑うことがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・新規受入時に行うミーティングはもちろん、当日参加できなかったスタッフも個人ファイルの情報をきちんと把握してケアに望むように心掛ける。
- ・利用開始直後の方についての支援は、当然のこととして戸惑いがあるものなので、日々の介護記録、支援経過にきちんと記録を行い、記録を確認する事で把握に努めるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月9日 (20:00~21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	1人	0人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・関わりについて、全てを自分で行うのではなく、チームとしての関わりを重視し、他職員と情報の共有をきちんと行うことで、目標とすべきケアが提供できるように、日々の声掛けや、連携のとり方について工夫する。 ・意向の把握が難しい方については、無理に自分でするのではなく、担当者や先輩職員、ケアマネージャーへ尋ねるなど、連携をきちんと行うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃のケアについては、ケアマネージャーや、当日のリーダーを中心としたチームとして動くことが出来ている。意向の把握が難しい方や、戸惑いがある際には、担当者やケアマネージャーへ尋ねるなど連携することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	14	0	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	14	1	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	12	3	0	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	7	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントやカンファレンス内での話し合いがきちんと出来ており、「本人の目標」や、「～したい」について理解し取組むことが出来ている。 ・「～したい」のための具体的支援内容がケアプランにあり、それに伴うかかわりが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々のかかわりの中で、本人の「～したい」という目標について、理解や取組みは出来ているが、「達成度」や「かかわり方」についての認識が、職員によって差異が見られる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス内で、ケアマネージャーや担当者から、「本人の目標」や「担当者としての思い」を共有する取り組みを行っており、その取り組みを継続して行いながら、職員による差異を少なくしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 9 日 (20 : 00 ~ 21 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	7人	1人	14人

前回の改善計画

- ・情報伝達やコミュニケーションについての外部研修受講を行う。
- ・情報共有について、記録方法の整備を再度行い、間違った情報が共有された場合もきちんと訂正できるような仕組みを作る。
- ・『軒下マップ』の利用を進め、内容の充実を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・外部研修の受講は行う事が出来なかった。
- ・記録の整備については、必要に応じて様式の変更や再作成などを行った。
- ・「軒下マップ」は、整備はすすんでいるが、活用するところまではいかなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	5	8	2	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	11	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	11	4	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	11	2	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	12	3	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人の状況に合わせた介護(臨時の通い・訪問・宿泊)を提供することが出来ている。
- ・サービス利用時には、本人の気持ちや体調の変化を聞き取ることが出来ており、その都度共有することが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・言語的なコミュニケーションが難しい方への対応が難しく、以前の暮らし方についての聞き取りや把握が進んでいない。
- ・スタッフ個人が持っている情報について、引き出すことが難しくミーティング内での共有が上手くできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・カンファレンスについて時間配分などを整理し、以前の暮らし方や送迎時に把握した情報などについて、全職員で話し合いをする時間を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成31年 1月9日 (20:00~21:00)
------------------	-----	--------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田
---------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	3人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、取り組みを行っている『軒下マップ』について、上手く活用出来るように、訪問や送迎時に行っている挨拶などの活動を継続し、必要に応じてホームの連絡先やパンフレットをお渡しし、地域の方にホームを知っていただけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の挨拶などの活動についてはきちんと行えている。地域の方に知ってもらえるような取組みとしては、初めてのバザーを実施することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	12	3	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	10	5	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	10	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	10	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「軒下マップ」について、送迎時などにお話を伺うなどして、新しく情報が把握できた場合には、軒下マップへ直接書き込むことが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・管理者やケアマネージャーを除くスタッフのほとんどは、直接的に民生委員などの社会資源や地域資源についての把握をする場面がほとんどないため、把握ができていない。 ・通いや訪問などのサービス利用回数が少ない利用者について、接点や聞き取りの機会が他の利用者よりも少なく、在宅時の生活状況についての把握が難しいと感じている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議やカンファレンス内で利用者を取り巻く関係者についてまとめた「軒下マップ」について、その都度説明を行い、変化があった際には追加や変更をしていく物であるということについて、少しでも職員内での理解が進むようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月 9日 (20:00~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	10人	2人	16人

前回の改善計画

- ・部内研修やカンファレンス内で、社会資源や軒下マップについての勉強会を開催し、理解を進める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・カンファレンス等で、「軒下マップ」や「社会資源」については、その都度触れることが出来ていたが、それらについての勉強会の開催は実施出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	8	1	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	9	1	1	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	15	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	16	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・お一人暮らしの利用者の方に対して、近隣の住人の方へ、聞き取りや緊急連絡の依頼を行うなどの連携が取れている。
- ・ご家族の急病や都合等に対して、「通い」・「訪問」・「宿泊」の各サービスを柔軟に組み合わせて支援することが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者の意向とご家族の意向がごっちゃになっている時があり、本人の状態に合わせた支援となっていないかわからないことがある。
- ・本人の介護度の重度化や認知症の進行により、いままで受けることが出来ていた地域の支援が受けられなくなるケースがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・重度化しても自宅での生活が継続できるように、関係者との連携を密にし、利用変更があった場合には連絡を行うなど、支援の輪の中に地域の方が入るような取り組みを行う。
- ・利用者の意向を最優先として、小規模多機能ホームの特性を活かし、「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせた柔軟な支援を継続して行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月 9日 (20:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	4人	15人

前回の改善計画

- ・地域住民へ向けた勉強会について、開催できるように働きかけを行う。
- ・参加可能な町内会行事について話し合いを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域住民へ向けた勉強会への働きかけが出来なかった。
- ・職員、利用者全員ではないが、「夏祭り」や「小松原カフェ」といった町内会行事への参加をする事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	5	0	10	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	0	13	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	3	2	9	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	5	5	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・担当者会議を開催する際に、各種関係機関(医療機関、福祉用具貸与事業所、訪問看護)と連携する事が出来ている。
- ・初めて、ホームでバザーを開催することが出来、地域住民の方にホームへ足を運んでいただき、小規模多機能ホームについて知っていただく機会とする事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・管理者やケアマネージャー以外は、ほとんど「担当者会議」や「自治体や地域包括支援センター主催の会議」等への出席が出来ていない。
- ・各種機関・団体の活動への参加機会がもともと少なく、参加できるスタッフ(管理者・ケアマネージャー・少人数)も限られている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域の中に入っていき「小松原カフェ」、「夏祭り」、「清掃活動」への参加と、地域の方にホームに来ていただく行事「バザー」、「認知症等見守りメイト実習受入」に取り組む。
- ・担当者会議当日の勤務を可能な範囲で調整し、参加する職員を担当者だけでなく広く参加してもらい、ケアプランの理解や関係事業所とのつながりについて触れる機会を増やすように取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月 9日 (20:00~21:00)

7. 運営

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	3人	15人

前回の改善計画
 ・地域に必要とされる拠点であるために、あいさつや清掃活動への参加を継続して行う。また、活動への参加者についても、多くの職員が関わる事が出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・散歩などの外出時に、出会った方への挨拶や清掃活動への参加を継続して行う事が出来たが、多くの職員が関わると言うことについては出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	10	4	2	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	3	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	4	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	6	5	3	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用者、ご家族の方からの意見や苦情を受けた際には、職員会議やカンファレンスの場で話し合い、その都度施設として対応することが出来ている。
 ・運営推進会議内で、地域の中での困りごとに関して話し合いを行う機会を設けており、町内の高齢者の状況や、必要な支援について出席者で話し合うことが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・地域と協働した取組み(主に運営推進会議)において、関わるスタッフが管理者に限定されている場合が多く、職員として把握したり取組んだりすることがない。
 ・運営推進会議で出された「地域の課題、困りごと」に対して、職員会議やカンファレンス等で話し合いや、職員間で情報を共有することが出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・より多くの職員が関わる仕組み(勤務の調整や情報の提供など)を整備し、地域の中で必要とされる施設とっていただけるように取組みを継続する。
 ・運営推進会議内で出された「地域の課題、困りごと」について、当日の業務等で会議への職員参加が難しい場合、直近の職員会議やカンファレンス等で情報の共有を行うように取組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月9日 (20:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人	1人	15人

前回の改善計画

- 外部研修への計画的な参加を行うために、個人目標にあわせた研修受講が出来るように、研修計画の見直しを行う。
- ひやりはっと・事故報告については、情報の共有(即時性・正確性)について工夫を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 外部研修への参加については、おおむね、職員のレベルや個人目標に合わせた受講が出来ている。
- 事故報告書については、きちんと情報共有等が出来ているが、ひやりはっとの報告数が少ないため、書式などに工夫が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	8	2	1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	8	6	1	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	3	9	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	4	2	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 職場の内外の研修について、おおむねスタッフに合わせた研修の受講が出来ており、伝達研修についても行うことが出来ている。
- 市の小規模多機能ホーム連絡会への加入が出来ており、運営研修会等への出席も出来ている。
- 事故発生時には、報告書の提出、共有、再発防止に向けた取組みを行う事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 事故報告書・ひやりはっと報告書について、報告書の提出、対策、共有は出来ているが、即時性がない。また、ひやりはっと報告書については、提出数自体が少ない状況にある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ひやりはっとの書式を全面的に見直し、記入するスタッフと共有するスタッフがともに理解しやすく、提出しやすいものへ変更し、対策や共有について取組みを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年 1月 9日 (20:00~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 坂下、岩重、天野、大川内、柳田、成松、藤後、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、上野、藤崎、堂地、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	2人	0人	16人

前回の改善計画
 ・身体拘束や虐待に関する研修会(外部・部内)についての情報収集を行い、参加や実施を検討し、全職員で学ぶ機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・部内学習で身体拘束や虐待に関しての研修会を計画、実施する事ができ、全職員で学びの機会を持つことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	9	0	0	16
②	虐待は行われていない	8	8	0	0	16
③	プライバシーが守られている	4	10	2	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	3	6	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	10	1	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・身体拘束や虐待について、「ケアを提供する者として、絶対にしてはいけないこと」として、全スタッフが認識出来ている。
 ・部内研修で身体拘束や虐待についての学習会があり、身体拘束に繋がる声掛けやケアについて、具体的に学ぶ機会を設けることが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・成年後見制度について、学ぶ機会があったが、実際に制度を利用されている方はいらっしやらなかった。
 ・個人情報の管理については、事業所内のことではあるが、利用者の前で個人情報のやり取りをする場面があり、完全に守られているとは言えないのではと感じられることがあった。
 ・研修を行った直後は、全スタッフがきちんと出来ていたが、時間経過とともに、研修内容について忘れていたスタッフを見ることがあった。そういった場面に遭遇した際に直接注意することが出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・身体拘束や虐待については、「ケアを提供する物として、絶対にしてはいけないこと」という基本を守りつつ、誰もがちょっとした事で行ってしまうリスクを持っていることについて把握に努める。
 ・注意されたことに対して、真摯に受け止める姿勢を持つように声掛けや学習などの取り組みを行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様に『もうひとつのわが家』と思っていただけるよう、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、お一人おひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問、宿泊のサービスを適宜組み合わせる事で、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としたケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切に、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす南谷山	管理者	坂下 税		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 働き方によって関わり方も違うので、それぞれの働き方に合わせた評価の仕方は継続して行う。 改善点として出てきた点についてきちんと改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフそれぞれに合わせた評価を行う事が出来た。 出された改善点については、取り組めた物もあるが、課題として残った物もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 良いことばかりでなく、できていない事がきちんと記載されているところが良いと思いました。 参加したスタッフの意見がきちんと反映できているように思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点として出された課題については、出来る範囲で取り組みを行う。 評価への取り組みについても、継続して行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方が、気軽に立ち寄ることが出来るように、玄関に花を置くことを継続して行う。 介護相談が出来るところであると認識していただくために、介護相談についてのポスター掲示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関に花を置き、気軽に立ち寄ることが出来るような環境整備を行うことが出来た。 玄関に介護相談についてのポスターの掲示を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関に花を置くなど、去年の改善点への取り組みがきちんとなされていて、良いと思いますし、施設への入りにくさは特に感じませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の花を置くなど、現在取り組んでいる事については継続して行う。 掲示物については、新しい物が来た時点で張りかえるなどの取り組みを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で確実に地域版のおあしす便りを準備し、回覧板で定期的にホームの情報を発信できるようにする。 今年度は開催できなかった、地域での認知症の勉強会について計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域版のおあしす便りについては、取り組みが出来なかった。 地域の方を招き、ホームとして、初めてバザーの開催を行う事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議での紹介を通じ、おあしすのスタッフさんや長寿あんしん相談センターの職員の方が、こまつばらカフェに参加してもらえるようになって、参加者にとっても、事業所等の認知が進んだと思います。 こまつばらカフェの中で交流ができていて、あの人がいるから話をしたり、相談したりしてみようという環境が出来てきたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> こまつばらカフェへの継続参加を基本として、参加するスタッフを増やす取り組みや、利用者様の参加について検討する。 夏祭りの灯籠作成については、利用者様と一緒に作成、参加を継続して行う。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の生活地域における支援や地域の方との関係作りについて、取組みを始めた『軒下マップ』を活用し、関係者の把握や支援内容の充実を図る。 ・町内の行事について、総会資料や回覧板を参考にして参加できるものを検討し、参加できそうなものについては参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『軒下マップ』については、新規利用時に作成し、現在利用中の方については情報の更新が出来ている。 ・町内の行事として、『町内会総会』『公園清掃』『夏祭り』『こまつばらカフェ』への参加を行う事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方、特に支援が必要だけれど、まだまだ地域の方と交流がある方については、行事で出かける事で、地域の方と会いたくない。施設を利用している事を知られたくない、あえて自宅から離れた施設を利用するという方が多いのも事実ですので、その点についての配慮はしていただけたほうが良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年から実施している、利用者様の生活地域における取組みとして実施している『軒下マップ』については、記入や把握についての取り組みを継続して行う。 ・町内の行事への参加については、現在参加している『町内会総会』『公園清掃』『夏祭りの灯籠作成』『こまつばらカフェ』への参加を継続して行う。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議内で、地域の困りごとについて話し合いを継続して行い、支援や相談が必要な場合には、ホームの見学や関係各所へつなぐ取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議内で、地域の困りごとについての話し合いを継続して行う事が出来ており、その中で、市の介護保険課や長寿安心相談センターなどの繋ぎ先や、相談の手順等についての説明や話し合いを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議内で、地域の方について話すこともありましたが、プライバシーに配慮する必要がある為、どこまでこの会議内で話しを出してよいのか分からない事もありました。 ・事業所の取り組みについては、きちんと報告を受けていますし、資料も見やすいと思いました。 ・スタッフの会議への参加というのは、体制面で難しいと他の事業所さんでも悩まれている事ですので、報告書の作成をされているのであれば、職員会議等で報告してみてもどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の報告書を会議終了後に作成しているので、直近の職員会議で報告を行い、職員に運営推進会議の内容についての情報伝達を行うようにする。 ・運営推進会議内で、直近の『ひやりはっと・事故報告』についての報告を行う機会を設けるようにする。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練や消防訓練への参加を検討する。 ・非常災害時、ホームとしてどういった支援が可能か検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練や消防訓練への参加は、日程調整が難しく参加出来なかった。 ・非常災害時の支援については、検討する機会がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このホームでは、運営推進会議と消防訓練が同時開催になっているけれど、毎回、この会議の委員全員が出席できるわけではないので、次回の会議等で周知する仕組みを作ってみてはどうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練時に参加できなかった委員への周知方法として、次回の運営推進会議内で、訓練の内容、消防隊の講評などについて報告する機会を設ける。 ・地域の防災訓練への参加について、日程調整が可能であれば、積極的に参加してみるように取り組みを行う。